

公益財団法人 国家基本問題研究所
総合安全保障プロジェクト

中国軍事動向月報

2025年2月



JINF

Japan Institute
for National Fundamentals

目 次

1 全 般	・ ・ ・ 3
2 各軍等	・ ・ ・ 4
3 対台湾動向	・ ・ ・ 8
4 対日動向	・ ・ ・ 11
5 国境地域等での活動	・ ・ ・ 16
6 軍事交流	・ ・ ・ 18
参考文献	・ ・ ・ 19

中国軍事動向月報：2025 年 2 月

2025. 3. 7

国家基本問題研究所 研究員 中川真紀

1 全 般

2 月は 1 月 28 日（大晦日）からの春節休暇が 4 日に終了、12 日の元宵節も終わると訓練が徐々に活発化し始めた。特に海軍では、フィリピン（以下、比）の群島航路帯を通過しオーストラリア（以下、豪）を周回する遠海訓練や強襲揚陸艦を伴った太平洋での遠海訓練の開始が確認された。

14 日に戦争準備や戦時規則に焦点を当てた 3 コ条例が改訂公布された他、戦争移行訓練や戦備訓練を強調した報道が散見された。1 月に習近平中央軍事委主席が春節時の部隊視察をした際、部隊の戦備当直と任務執行状況を確認し、全軍が戦備当直を強化し、不測事態に適時適切に対応すべしと訓示したが、これに応えると共に、2027 年建軍百年を見据えて台湾侵攻準備を着々と進めている可能性がある。

台湾に対しては、中国軍が台湾周辺で予告もなく臨時に無線による通知だけで演習区域を設定した射撃訓練を実施、更にパトロール中の東部戦区艦艇の隊員が「戦備警戒パトロール時は常に砲弾は全装填し、射撃システムも発射準備状態で何時でも射撃できる状態である」と述べる等、訓練やパトロールを実施中の艦艇・軍用機が命令さえあれば直ちに侵攻態勢に移行できることを示唆した。

日本に対しては、尖閣周辺海域において 76mm 砲搭載船 4 隻による領海侵入が初確認され、また一段、尖閣諸島周辺海域での活動を強硬化したと言える。

南シナ海においては、中比の対立は継続。特に米比軍の共同訓練や領有権問題係争国以外の豪の活動等を、「比による域外国の引き込み」と強く警戒しており、これらに対抗した活動を展開した。

2 各軍等

(1) 法規整備

○ 3 コ条例の改訂

2月14日、中央軍事委員会はそれぞれ改訂された「中国人民解放軍内務条例」、「中国人民解放軍紀律条例」、「中国人民解放軍隊列条例」を公布し、4月1日から施行するとした。

中央軍委訓練管理部の説明によると、今回の改訂の概要は以下の通り¹。

- ・ 今回の3コ条例改訂は2018年以来であり、新たな情勢・任務に以下のように対応したもの。
 - ① 習近平強軍思想の貫徹
 - ② 戦争準備に焦点
 - ③ 軍事政策制度改革への適応
 - ④ 新たな情勢・問題への対応
- ・ 「内務条例」では、各級人員の戦争準備における職責、部隊の戦備態勢保持の規範等を改訂
- ・ 「紀律条例」では、戦時の論功行賞や戦場における作戦規律維持・処分等を細分化・改訂
- ・ 「隊列条例」では、新装備に関する規定や指揮等を追加

【コメント】

中国軍は2015年から開始した軍改革の一環として、2018年頃より軍事政策制度改革を実施している。

この頃から軍事法規の整備が加速され、上述の3コ条例も当時の軍改革の進展に合わせて2018年4月に改訂されていたが、2019年から既に改訂作業に着手していた。

今回の改訂では特に、戦争準備に焦点が置かれ、条文でも「戦争準備」、「戦時」の文言が多く確認される。2027年の建軍百年を見据え、法制度の面からも台湾侵攻準備を進めていることが窺える。

(2) 海軍

○ 南部戦区海軍の遠海訓練

南部戦区は、「2月3日、南部戦区の海空兵力は、バシラン海峡を通過して遠海訓練に展開。フィリピンは中国艦隊の正常な航行を中傷・喧伝し、中国を含む他国の正常な航行の権利に多大な損害を与えている」と発表²。

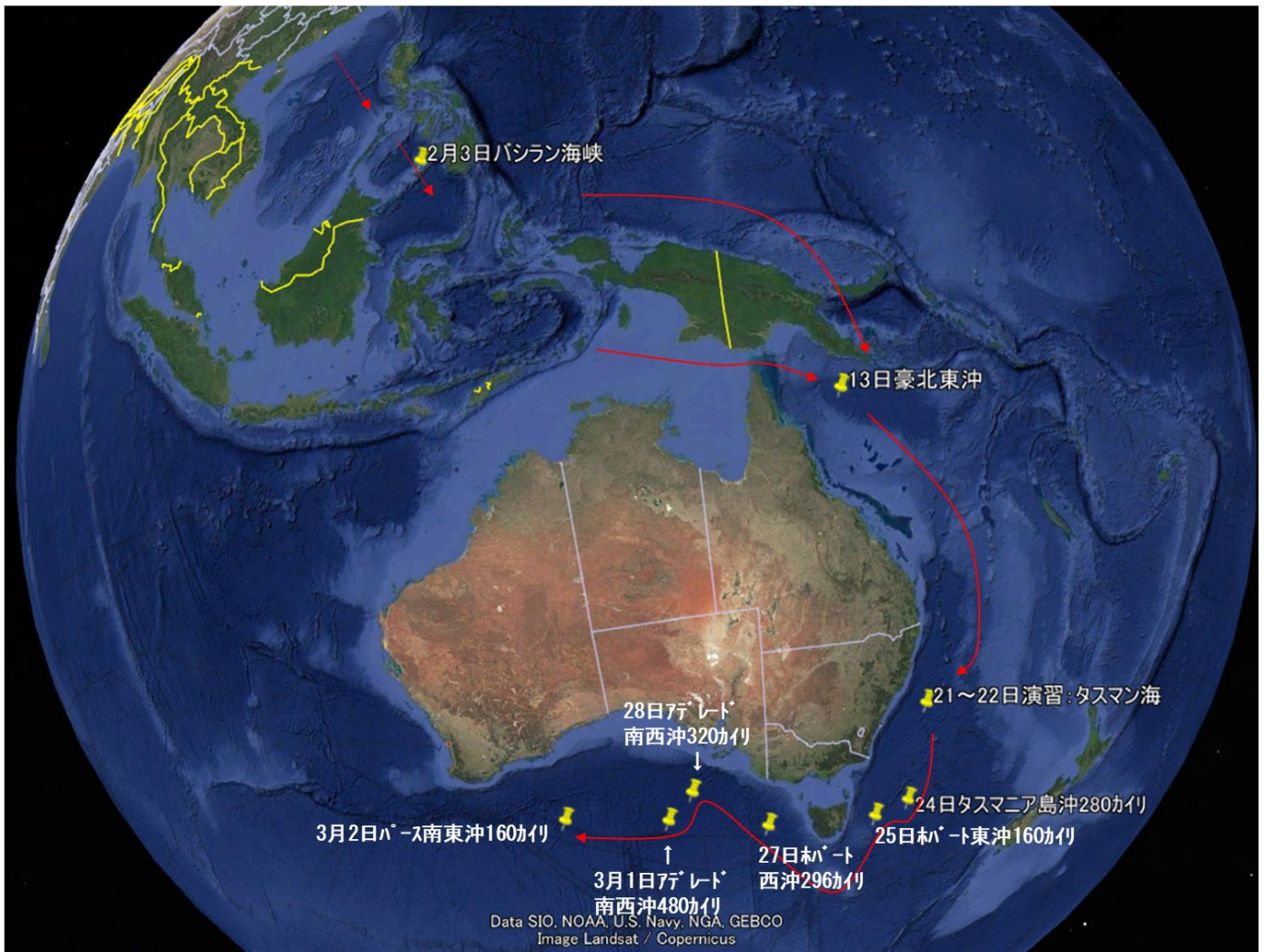
豪国防省によると、同編隊はレンハイ級駆逐艦「遵義」、ジャンカイ級フリゲート「衡陽」、フチ級補給艦「微山湖」であり、13日には豪北東沖で確認された³。

21～22日、豪・NZ間の国際水域で実弾演習を実施、民間航空機は危険を回避するため飛行ルートを変更したが、豪・NZの国防相が、中国からの通告は演習直前に周囲の航空機などに対し無線で行われており、多くの国が慣例とする12～24時間前の通告が望ましいとの考えを示した。

23日、中国国防部報道官は「中国艦艇編隊の演習地域は豪の海岸線から離れており、完全に公海上である。中国側は事前に何度も安全通告を実施し、艦砲実弾射撃訓練を行った。」「豪は理不尽に非難し、下心を有して喧伝している」と表明した⁴。

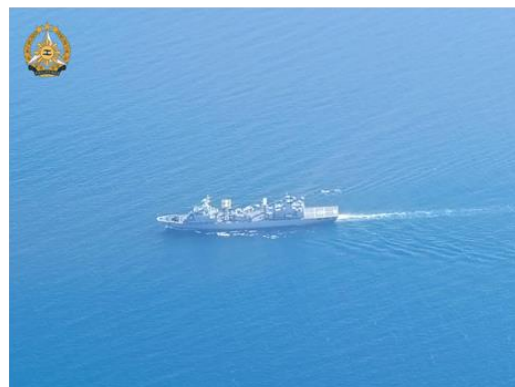
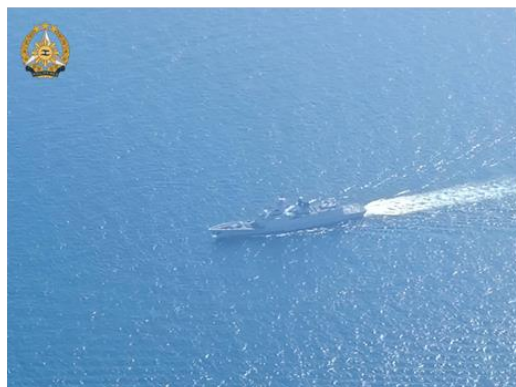
25日、中国海軍は公式SNSで遵義、衡陽、微山湖の3隻編隊が太平洋で航行補給・実弾射撃等の実戦的訓練を実施したと公表した⁵。

遠海訓練の航路（筆者が報道取り纏め。25日以降は豪国防省発表を基に記述）



比国防省が公表した通過した中国艦艇

左からレンハイ級駆逐艦「遵義」、ジャンカイ級フリゲート「衡陽」、フチ級補給艦「微山湖」



(出典：Armed Forces of the Philippines20250204)

中国が公表した遠海訓練の状況

編隊運動訓練



洋上補給訓練



「衡陽」主炮射撃



海上標的への射撃



(出典：4枚ともWeChat人民海軍20250225)

(3) 空軍

○ 空軍部隊の訓練から戦争移行訓練

某日早朝、空軍航空某旅団が訓練準備を完了していたところ、突然戦闘警報が鳴り、上級指揮所から直ちに訓練から戦争に移行、目標空域にて任務遂行の命令が発せられた。実弾を搭載した当直機編隊2機が直ちに離陸し、戦闘任務完了後帰隊、検討会等が実施された⁶。

訓練から戦争への移行訓練に参加した当直機2機



(出典：微信・人民空軍20250212)

【コメント】

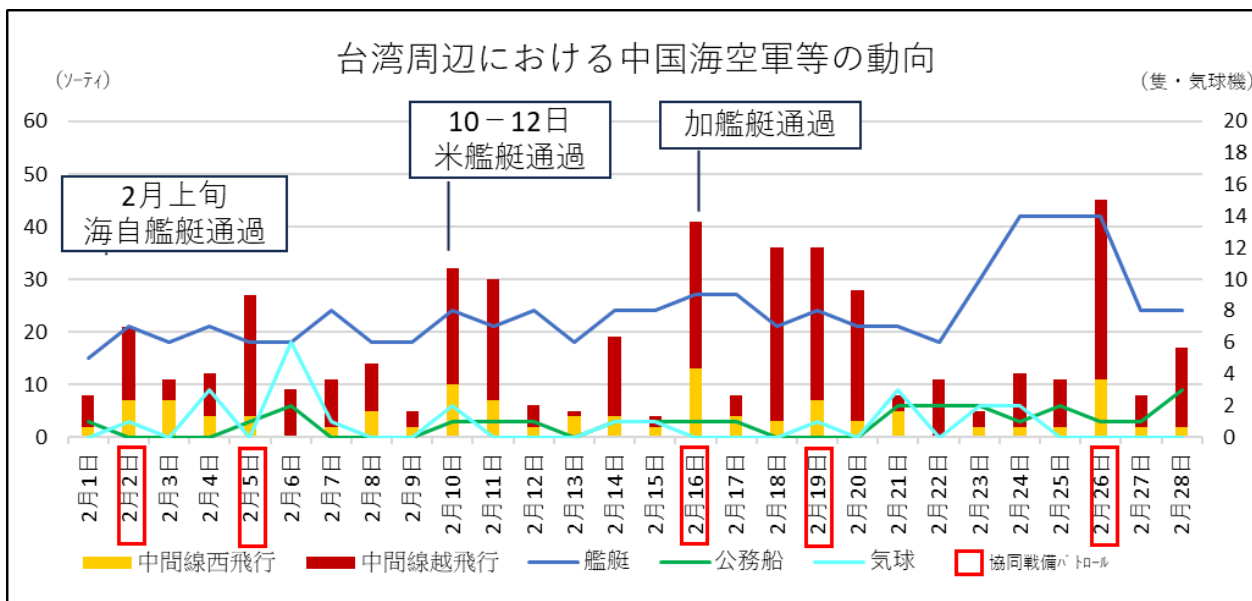
本年に入り、戦争移行訓練や戦備訓練を強調した報道が散見される。

中国空軍機はほぼ毎日台湾海峡中間線を越え台湾側に飛行しているほか、台湾周辺での海空軍による演習も増加させている。上述のような戦争移行訓練は演習と実際の侵攻開始との境界を曖昧にし、台湾を威圧するとともに、台湾軍の監視網を疲弊させる企図を有して行っている可能性がある。

3 対台湾動向

(1) 台湾周辺での中国軍の活動状況

○ 中華民国国防部発表による台湾周辺での中国海空軍の動向



(資料源：中華民国国防部 HP を基に作成)

2月は中国軍機延べソーター480 (内、中間線超えが延べ362)、中国艦艇延べ223隻、公務船延べ25隻、気球23機が確認。1日における軍用機最大確認数は41ソーター、最大中間線超え28ソーター、海空協同戦備パトロールは5回であった。

○ 東部戦区海空軍による台湾周辺の戦備警戒パトロール

元宵節の2月12日、東部戦区は台湾周辺で海空軍による戦備警戒パトロールと訓練を実施。

空軍はJ-10C戦闘機、H-6K爆撃機が参加。海軍のジャンカイ2フリゲート艦「淮北」は、並走する台湾海軍濟陽級フリゲート「宜陽」に「中国台湾宜陽艦、こちらは中国海軍淮北」と呼びかけ、元宵節の祝いの挨拶を述べた。同時に、戦備警戒パトロール時は常に砲弾は全装填し、射撃システムも発射準備状態で何時でも射撃できる状態であると、CCTVの取材に明らかにした。

中国淮北艦 (手前) から見る台湾宜陽艦 (奥)



台湾宜陽艦に呼びかける中国淮北艦の海軍人



(出典：軍事報道 20250212)

○ 東部戦区海軍の射撃訓練

台湾国防部は2月26日、「中国軍J-11,KJ-500等が26日0842から台湾の北部・南西部空域で海軍と共に協同戦備パトロールを実施、この間国際慣例に違反し、予告もなく、臨時に無線による通知だけで高雄・屏東沖約40カ所に演習区域を設定し、射撃訓練を実施した。」⁸、「中国東部戦区海軍が26日、台湾南西沖で演習区域を設定し射撃訓練を実施、1540までに離脱した。」⁹と公表した。

(2) 外国艦艇等の台湾海峡通過

○ 米

2月12日、東部戦区報道官は「10～12日に米駆逐艦ジョンソン、海洋測量船パウデッチが台湾海峡を通過した。東部戦区は海空兵力をもって全航程を監視警戒し、有効に対処した。米側の行動は誤ったシグナルを発し、安全保障上のリスクを増加させる」と発表¹⁰。

台湾国防部も「米艦艇2隻が10日から北から南に台湾海峡を通過」と発表¹¹。

○ カナダ

2月17日、東部戦区報道官は「16日にカナダ護衛艦オタワ（注：フリゲート艦）が台湾海峡を通過・喧伝した。東部戦区は海空兵力をもって全航程を監視警戒し、有効に対処した。カナダの主張は法理を曲解し、人々を惑わし、その行動は故意に混乱を生起させ、台湾海峡の平和と安定を破壊している。」と発表¹²。

台湾国防部も「カナダ艦艇1隻が16日に南から北に台湾海峡を通過」と発表¹³。

○ 日本

報道によれば2月上旬、海上自衛隊の護衛艦「あきづき」が台湾海峡を北から南に通過し、5日に南シナ海で実施した日米豪比共同訓練に参加、海自艦の同海峡通過は2024年9月以来、2例目で単独での通過は初であった。

しかし、防衛省からの公式な発表はなく、中国・台湾も共に関連した発表はなかった。

(3) 金門周辺海域での動向

中国海警局東海分局報道官は、福建海警局が2月25日に金門付近海域において常態化法執行パトロールを実施と発表¹⁴。

一方、台湾海巡署は、中国海警4隻が2月14・18・20・25日に金門制限水域に入域したと発表。いずれも4隻で約2時間航行し、退出した¹⁵。

(4) 台湾沖海底ケーブルの損傷

台湾海巡署は2月25日、台湾沖での海底ケーブル損傷について、以下のように発表。

- ・2月22日 1910～25日 0300：トーゴ船籍の貨物船「宏泰」が將軍漁港北西沖6カリ（台澎第3海底ケーブルから0.5カリ）で遊弋、海巡署は監視を続け、7回呼びかけたが応答なし。
- ・25日 0230：「宏泰」が將軍漁港北西沖6カリの位置で投錨したのを確認、直ちに離脱するよう呼びかけ
- ・0300頃：中華電信から、台澎第3海底ケーブルが切断、予備回線により通信に影響はなしと通報受け
- ・0308：「宏泰」が北西方向に離脱開始
- ・0324：中華電信から、外部からの破壊による可能性有との通報を受け、「宏泰」を現行犯で停止させ、調査
- ・1215：「宏泰」台南安平港に護送
- ・「宏泰」は中国資本の便宜船籍で船長以下8名中国国籍であり、中国によるグレーゾーンでのハラメントの可能性も排除できず、調査に全力を尽くす

台湾周辺の海底ケーブル



「宏泰」に乗り込む海巡署員



(出典：CNA20250225)

【コメント】

中国軍が、台湾周辺で予告もなく、臨時に無線による通知だけで演習区域を設定し、射撃訓練を実施したと台湾国防部が発表するのは初確認。また、パトロール中の東部戦区艦艇の隊員が「戦備警戒パトロール時は常に砲弾は全装填し、射撃システムも発射準備状態で何時でも射撃できる状態である」と述べており、訓練やパトロールを実施中の艦艇・軍用機が命令さえあれば直ちに侵攻態勢に移行できることを示唆した。

一方、1月に引き続き中国資本の貨物船が関与した可能性のある海底ケーブルの損傷が発生した。

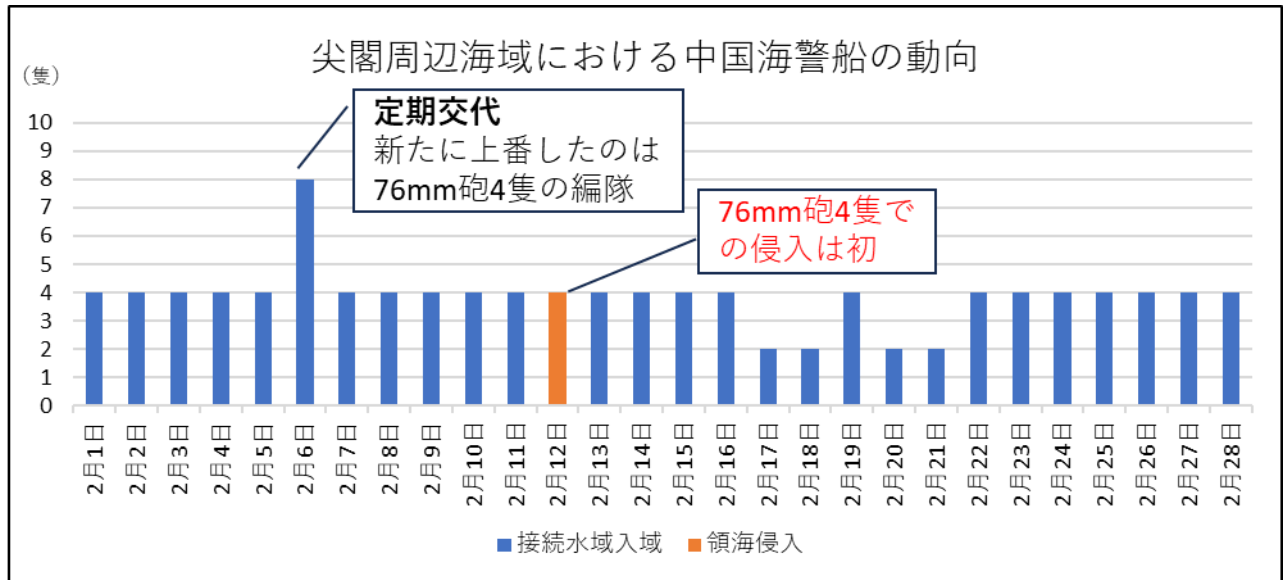
金門島での海警による制限水域への入域も常態化している。

軍・海警・民間船等様々なアセットを利用し、台湾への圧力を強化し、侵攻準備を推進している可能性がある。

4 対日動向

(1) 尖閣諸島周辺での活動状況

- 海上保安庁発表等による尖閣周辺における中国海警船の動向



(資料源：海上保安庁 HP、八重山日報を基に筆者が作成)

【コメント】

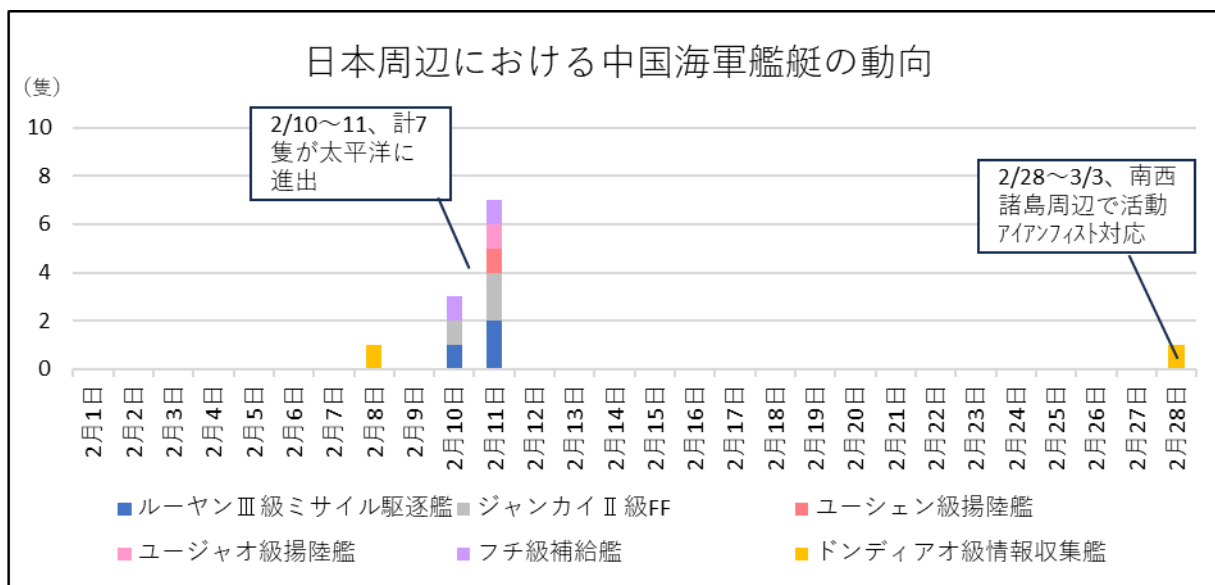
76mm 砲搭載船 4 隻による領海侵入が初確認され、また一段、尖閣諸島周辺海域での活動を強硬化したと言える。

76mm 砲 4 隻での航行は 2024 年 12 月に引き続き 2 回目であるが、12 月は接続水域を約 1 か月間航行したものの領海侵入は行わなかった。

12 月は 76mm 砲 4 隻で航行した場合日本がどのような反応をするか見極めるため、領海侵入までは実施しなかったが、日本から強い反発がなかったため、2 月はエスカレーションラダーを上げ、侵入を実施した可能性がある。

(2) 日本周辺での軍の活動状況

○ 防衛省統合幕僚幹部発表による日本周辺における中国海軍の動向



(資料源：防衛省統合幕僚監部 HP を基に筆者が作成)

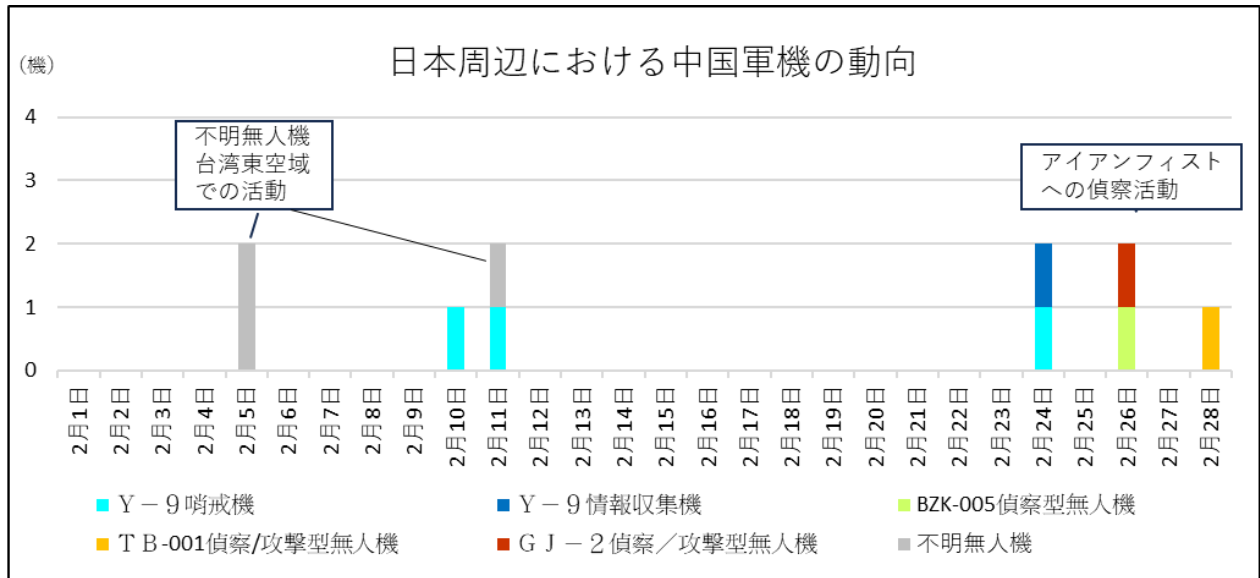
【コメント】

延べ9隻の活動が確認された。

2月10～11日にかけて、ユーシェン級及びユージャオ級揚陸艦を含む7隻が太平洋に進出した。フチ級補給艦が同行していることから遠海訓練の可能性はあるが、関連報道は未確認である。

28日に確認されたトンディアオ級情報収集艦は、28日に大隅海峡を東シナ海に向けて西進し、3月3日は沖宮間を太平洋に向けて東進していることから、南西諸島周辺で活動し、アイアンフィスト2025に対応した可能性がある。

○ 防衛省統合幕僚幹部発表による日本周辺における中国軍機の動向

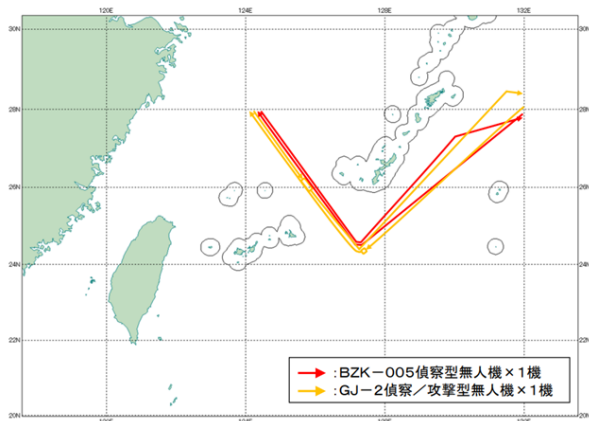


(資料源：防衛省統合幕僚監部 HP を基に筆者が作成)

延べ 10 機の活動が確認された。

26日、GJ-2 偵察／攻撃型無人機が対領空侵犯措置において初確認された。

2/26の航跡



2/26に初確認されたGJ-2



(出典：統合幕僚監部2025026)

【コメント】

GJ-2は中国では「翼竜II」と呼ばれる中国航空工業集団が開発した偵察・攻撃一体型多用途無人機。

中国の報道によれば、最大飛行高度は9000メートル、最高飛行速度は時速370キロ。翼竜シリーズ無人機チーフデザイナーは2017年に初飛行に成功した際、「同機の全長は11メートル、高さは4.1メートル、翼幅は20.5メートルで、特殊なターゲットを攻撃する設定。同機の水準は米国のMQ-9リーパーに相当」と述べている。

2月下旬はGJ-2に加え、2種類の無人機とY-9が飛来したが、2月19日～3月7日に実施されている陸上自衛隊と米第3海兵機動展開部隊との共同訓練「アイアン・フィスト25」への偵察活動を多様なアセットをもって実施した可能性がある。

防衛省発表のアイアンファイト訓練予定地域



(出典：防衛省令和7年1月「令和6年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練（アイアン・フィスト25）について」)

(3) 対日認知戦（解放軍報、国防部の発表からの抜粋のみ）

- 日米防衛相会談で日米安全保障条約の尖閣諸島適用を米側が確認したことについて¹⁷
国防部記者会見 20250214

釣魚島（注：原文ママ）と付属の島嶼は中国の固有の領土であり、日米が何を言おうと、何を行おうともこの事実は変えることはできない。日米安保条約は冷戦の産物であり、第3国を対象としたり、地域の発展に危害を及ぼすべきではない。今年是世界反ファシスト戦争勝利80周年であり、日本が歴史の教訓を汲み取るよう希望する。

- 日米共同声明での台湾への言及について¹⁸ 国防部記者会見 20250214

日米共同声明の関連部分は中国への乱暴な内政干渉であり、中国への言われなき批判に強烈に不満であり断固として反対する。

- 日比防衛相会談で協力強化合意について¹⁹ 国防部記者会見 20250227

政治的には日本は域外国家であり、南シナ海問題には介入できない。また技術的にも日本製のレーダーで南シナ海の中国の活動を監視しようとしてもそれは完全に夢物語である。

【コメント】

中国は国を挙げて今年を世界反ファシスト戦争勝利80周年と位置付け、歴史問題において日本を非難する論調を展開しており、国防部についても同様の認知戦を行っている。

5 国境地域等での活動：南シナ海

(1) 対比

2/4

◇米比空軍が南シナ海上空で合同訓練及びスカボロー礁上空の定期パトロールを実施

◇南部戦区空軍がスカボロー礁（注：中国名「黄岩島」）空域の定期パトロールを実施

「比が域外勢力を引き入れ、所謂「共同パトロール」を実施したのは、南シナ海の平和と安定を破壊するものである」と発表²⁰。

2/12

◇南部戦区が南シナ海海域の定期パトロールを実施

「この所、比が域外国を引き込み所謂「共同パトロール」を何度も行い、軍事挑発と世論の鼓舞によって、中国の海洋権益の侵犯を掩蔽し、南シナ海の平和と安定を破壊しようとしている。」と発表²¹。

2/18

◇比沿岸警備隊は18日、南シナ海のスカボロー礁の上空で同日監視飛行をしていた漁業水産資源局の航空機に対し、中国海軍のヘリコプターが3メートルの距離に接近し、無謀な飛行で比側の乗員らを重大な危険にさらしたと発表。航空機に同乗取材していたAP通信は、フィリピン側が危険を訴える無線警告をしたにもかかわらず30分間にわたって緊張が続いたと報じた²²。

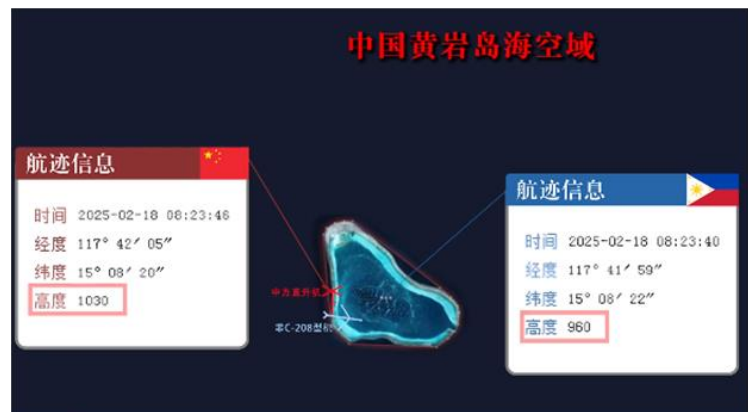
◇南部戦区が比機を追跡監視・警告駆逐

「比 C-208 機が中国政府の許可を得ず、スカボロー礁領空に侵入し、更に事実を歪曲し虚偽の情報拡散させている。」と発表²³。

比C-208型機に呼びかける中国海軍ヘリ



中国が公表した2/18の中・比機の位置



(出典：国防部網20250221)

2/20

◇南部戦区が比機を追跡監視・警告駆逐

「比 C-208 機×2、N-22 機×1 が不法に南沙島礁付近の空域に侵入、南部戦区は全行程を掌握し、警告駆逐を行った」と発表²⁴。

2/27

◇南部戦区が海空兵力によりスカボロー礁領海領空及び周辺区域の戦備パトロールを実施²⁵

◇海警が、スカボロー礁領海及び周辺海域で法執行パトロールを実施²⁶

(2) 対豪

豪国防省が、2月13日、「11日に南シナ海国際海域で定期的なパトロールを行っていた豪空軍 P-8A 哨戒機の至近距離で、中国軍の J-16 戦闘機が「照明弾」を投下、豪側には損傷はなかったが、中国を含むすべての国に安全かつプロフェッショナルな方法で活動することを希望する。」と発表²⁷。

これに対し、中国国防部報道官は14日、「豪は南シナ海で故意に中国の主権を侵害し挑発し、更に盗人猛々しくでたらめを言いふらしている。我々はこれに断固反対し、豪側に厳正な申し入れを行った。」「豪が機を窺って冒険するような幻想を捨て、第1線の海空部隊の行動を厳しく統制し、誰かの手先となって南シナ海で騒動を起こし、他国も自国も害することのないよう要求する」と表明²⁸。

【コメント】

南シナ海における中比の対立は継続。特に米比軍の共同訓練や領有権問題係争国以外の豪の活動等を、「比による域外国の引き込み」と強く警戒しており、これらに対抗した活動を展開した。

6 軍事交流

(1) 共同訓練

○ パキスタン海軍主催多国間共同訓練（AMAN2025、中国側呼称「和平-2025」）

2月6～11日、AMAN2025にルーヤン3級ミサイル駆逐艦「包頭」、フチ級補給艦「高郵湖」が参加。参加各国軍と対海賊、搜索救難、防空等の訓練を実施した²⁹。

なお、日本からは護衛艦「むらさめ」が派遣された。

(2) 軍事交流

○ 第23回中豪防衛戦略協議

2月17日、第23回中豪防衛戦略協議が北京で開催。徐起零中国中央軍委統合参謀部副参謀長とプマン豪国防軍副司令官、ジェフリー豪国防部副長官が参加。両国両軍関係、地域の安全保障等について意見交換を行い、防衛分野で戦略的コミュニケーションを強化し、矛盾を適切に処理して交流協力を推進することに合意した³⁰。

○ 音楽隊の仏訪問

軍音楽隊は2月20～24日、仏シャロン＝シュル＝ソーヌにて軍音楽祭に参加。仏軍音楽祭への参加は2回目。この間、米・仏・メキシコ等の国々と演奏交流を実施した³¹。

【コメント】

2月13日に南シナ海での行動への非難を公表した豪と17日に戦略協議を実施、仏へも音楽隊を派遣する等、西側各国への強硬姿勢は採るものの、対話のチャンネルは維持しており、情勢と優先順位に応じて剛柔どちら対応できるよう準備している。

【参考文献】

- 1 国防部網 20250303
http://www.mod.gov.cn/gfbw/sy/tt_214026/16372158.html
- 2 中国軍網 20250203
http://www.81.cn/yw_208727/16367505.html
- 3 豪国防省 20250213
<https://www.defence.gov.au/news-events/releases/2025-02-13/statement-peoples-liberation-army-navy-vessels-operating-north-australia>
- 4 国防部網 20250223
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16370922.html>
- 5 WeChat 人民海軍 20250225
https://mp.weixin.qq.com/s/kLJDjSJjdQxRpgHwA_W0IQ
- 6 WeChat 微信·人民空軍 20250213
https://mp.weixin.qq.com/s/xV1_cUnKdp4KmjI7gtUUmw
- 7 央視新聞 20250212
https://ysxw.cctv.cn/article.html?toc_style_id=feeds_default&item_id=15492989875663917729&channelId=1119
- 8 中華民國国防部 20250226
<https://www.mnd.gov.tw/Publish.aspx?p=84072&title=%e5%9c%8b%e9%98%b2%e6%b6%88%e6%81%af&SelectStyle=%e6%96%b0%e8%81%9e%e7%a8%bf>
- 9 中華民國国防部 20250226
<https://www.mnd.gov.tw/Publish.aspx?p=84073&title=%e5%9c%8b%e9%98%b2%e6%b6%88%e6%81%af&SelectStyle=%e6%96%b0%e8%81%9e%e7%a8%bf>
- 10 中国軍網 20250212
http://www.81.cn/yw_208727/16369033.html
- 11 中華民國国防部 20250212
<https://www.mnd.gov.tw/Publish.aspx?p=84009&title=%e5%9c%8b%e9%98%b2%e6%b6%88%e6%81%af&SelectStyle=%e6%96%b0%e8%81%9e%e7%a8%bf>
- 12 国防部網 20250217
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16369895.html>
- 13 中華民國国防部 20250216
<https://www.mnd.gov.tw/Publish.aspx?p=84028&title=%e5%9c%8b%e9%98%b2%e6%b6%88%e6%81%af&SelectStyle=%e6%96%b0%e8%81%9e%e7%a8%bf>
- 14 中国海警局 20250225
https://www.ccg.gov.cn/hjyw/202502/t20250225_2612.html
- 15 海洋委员会海巡署 20250220、20250225
www.cga.gov.tw

- 16 海洋委員會海巡署 20250225
<https://www.cga.gov.tw/GipOpen/wSite/ct?xItem=164475&ctNode=650&mp=999>
- 17 · 18 中國國防部網 20250214
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/sy/rt/16369602.html>
- 19 國防部網 20250227
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16371873.html>
- 20 中國軍網 20250204
http://www.81.cn/yw_208727/16367549.html
- 21 中國國防部 20250212
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16369260.html>
- 22 共同通信 20250218
<https://nordot.app/1264545926947799810?c=302675738515047521>
- 23 國防部網 20250218
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16370184.html>
- 24 國防部網 20250221
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16370715.html>
- 25 南部戰區 WeChat20250227
<https://mp.weixin.qq.com/s/MX3O8XblyEuRlkAnYwgcNA>
- 26 中國海警局 20250227
https://www.ccg.gov.cn/wqzf/202502/t20250227_2614.html
- 27 豪國防省 20250213
<https://www.defence.gov.au/news-events/releases/2025-02-13/statement-unsafe-and-unprofessional-interaction-peoples-liberation-army-air-force>
- 28 國防部網 20250214
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16369597.html>
- 29 中國國防網 20250214
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/sy/rt/16369602.html>
- 30 國防部網 20250217
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16370040.html>
- 31 中國軍網 20250226
http://www.81.cn/szb_223187/szbxq/index.html?paperName=jfjb&paperDate=2025-02-26&paperNumber=04&articleid=950172

中国軍事動向月報 2025年2月

2025年3月7日発行

公益財団法人国家基本問題研究所
〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-1
平河町ビル5階

本書の無断転載、複写、複製を禁じます。